

高次脳機能障がいに関する講演会

特定非営利活動法人 宝塚高次脳機能障害者共生の会
〒665-0034 兵庫県宝塚市小林5丁目3番43号エスティ宝塚106号

助成事業の概要

日時：2017年10月8日(日)13:00～16:30

場所：宝塚ソリオホール

対象：高次脳機能障害に関心のある住民、当事者、
家族、支援者

プログラム：

13:00～13:10 前奏

13:10～14:30 種村純先生講演「当事者が身
近な人とうまく関わるには」

言語聴覚士の種村先生による講演会を実施した。

14:45～15:10 藤坂幸広氏講義「地域で上手
く生活していくための事例紹介」

総合リハ高次脳機能障害相談窓口の藤坂幸広氏に
よる講義を実施した。

15:10～16:00 ワークショップでの情報交
換

関心のある住民の方、当事者、ご家族、支援者など
幅広い方が14グループに分かれ、高次脳機能障
害の特徴や支援、工夫について話し合いを実施し
た。

16:00～16:30 全体でのQ&A

種村先生、藤坂氏への質疑応答

事業の成果

高次脳機能障害は外見からは分かりにくく、周
囲のみではなくご本人も理解しがたい症状です。

その中でも、対人関係におけるコミュニケー
ションは、当事者とご家族が最も長年に渡って困
る事柄であるといわれています。

特に頭部外傷によるコミュニケーションは、失
語などの要素的問題がないにもかかわらず、人の
気持ちを汲み取ったり、演繹的表現をしたり、会
話をスムーズ行うといった問題が生じることが多
く、家族間や職場間の人間関係に影響を及ぼすこ
とが多くあります。

1部では、支援の専門家によるコミュニケー
ションについてのわかりやすい説明と支援のポイ
ントを教授いただきました。高次脳機能障害への
支援の中でもコミュニケーションについては未だ
支援方法も確立しておらず、改善も困難が多いと
いわれていますが、支援者にとっても参考になる
お話がありました。

アンケートからは、支援者から多く役に立った
という声がきかれました。

2部では、実際に兵庫県の高次脳機能障害相談
窓口の支援を聞くことができました。

高次脳機能障害を支援する社会制度は分かりに
くく、利用できる様々な支援を説明していただい
たことにより、当事者・ご家族の今後の生活に役
立つ情報を収集できたと思われれます。

続くワークショップも、当事者、ご家族、支援
者を交えたグループ構成にしたことにより、それ
ぞれの立場からの意見を交換でき、違った視点を
得られたと考えます。

アンケートからもワークショップが役に立った
という声が多く聞かれました。また、近隣の支援
機関や当事者とのネットワークの構築の一助に
なったと考えます。

約150名の方にご参加いただき、今年も盛況
で終えることができました。当事業所についての

広報にもつながり、見学やお問合せのご連絡もいただいております。

■ 成果の広報、公表

ホームページブログへの掲載、施設のニュースレターへの掲載をいたします。また、会の様子についての動画DVDを作成し、希望者への貸し出しを実施します。その他、当法人主催の家族会、交流会での報告やDVD鑑賞を実施します。外部に講師として講義を実施する際の参考資料としても用いる予定です。

■ 今後の展開

定期開催している講演会・ワークショップは年々規模も拡大しており、今年も参加者が増えました。

助成金を頂いたことで、今回も遠方から講師を招いて講演会を実施することができました。この講演会は、わかりにくい障害である高次脳機能障害について、地域への理解を深め、当事者、家族、支援者が対処法を知り、住みやすい地域環境を作ること为目标にしています。

今後もいろいろなテーマを用いて、多数の参加者の方に参加していただける会を企画していきます。

支援者のみではなく、当事者、家族が高次脳機能障害への対処法を身に着け、自ら生活を向上させる技を習得する会を今後も検討していきます。地域における障害の支援ネットワーク作りも講演会により継続していきます。